

平成27年第4回木津川市議会定例会開会あいさつ

みなさん、おはようございます。

本日ここに平成27年第4回木津川市議会定例会をお願いいたしましたところ、議員の皆様には何かとご多用のところご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

市内の紅葉は、見頃の終盤を迎え、いよいよ冬の到来を感じる季節となりました。これからは、日ごとに寒さが増してきますが、議員の皆様にはくれぐれも体調にご留意いただきますようお願い申し上げます。

それでは、本定例会冒頭の貴重なお時間をいただきまして、市政の状況などにつきましてご報告させていただきます。

まず、かねてから市民の皆様方に、大変ご心配をおかけしておりました木津川台地区への幼稚園開園につきましては、認定こども園も視野にいたした誘致活動を進めて参りましたところ、この度、事業をしていただける法人が決定いたしました。

今後は、平成29年度の開園に向けまして、取り組んでまいります。

認定こども園は、幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持つ施設となりますので、子育ての多様なニーズに対応できるとともに、市民の皆様喜んでいただける施設となるよう法人と十分に連携を図り、進めてまいりたいと考えております。

次に「木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてでございます。

少子高齢化、人口減少対策として国を挙げた地方創生の取り組みが、すべての市町村で始まります。本市では、去る10月27日に木津川市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定いたしました。

本市は、子育て世帯の人口が多いこと、また、子育てしやすいまちは、どの世代も住みよいまちとの考え方を基本に、総合戦略の柱を「子育て」とし、戦略スローガンを「子ども育マチ・きづがわいい」といたしました。

今後は、市民の皆様にご協力をいただきながら戦略に定める6つの基本目標にかかる施策を展開し、一人でも多くの方に「住みたい、住み続けたい、住んでよかった」と実感いただけるまちづくりを推進してまいります。

次に「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定書」についてでございます。

去る10月23日に、京都府犯罪被害者支援センターと、「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定書」を締結いたしました。

当センターでは、犯罪の被害に遭われた被害者ご本人やご家族の方々の相談支援を行っていただいております。

本協定を締結したことにより、京都府 犯罪被害者支援センターとの連携を密にし、本市が実施している犯罪被害者支援に関する各種施策と併せてより一層の推進を図ってまいりたいと考えております。

次に、大仏鉄道遺構めぐり等についてでございます。

9月30日には、新日本歩く道紀行100選シリーズの「文化の道100選」に「大仏鉄道遺構めぐり」が、また「歴史の道100選」に「当尾石仏の道」、「ふるさとの道100選」に「山背古道」が選定されました。

大仏鉄道遺構めぐりコースでは、案内サインの整備を進めてまいりましたが、このたび、

「松谷川隧道」付近におきまして、大仏鉄道研究会会長よりご寄附をいただいた関西鉄道社の社章を模ったモニュメントを設置いたしました。

これまでから大仏鉄道遺構のPRを奈良市とともに行ってきたところですが、先日、奈良市と共催いたしました「幻の大仏鉄道ウォーク」に、小雨の天気にも関わらず市内外からご参加いただいた113名の方に仲川奈良市長と激励させていただいたところがございます。

今後、奈良市と連携しながら、このコースの魅力を広く発信してまいりたいと考えております。

次に、JR木津駅前の市有地の活用についてでございます。

懸案でありましたJR木津駅前の市有地の活用につきましては、現在、商業施設の誘致を行うため、事業用定期借地用地として、公募型プロポーザル方式による民間事業者の募集を開始いたしました。

民間事業者の事業ノウハウ等を最大限に活かした魅力的な商業施設の提案を期待いたすところがございます。

さて、本定例会にご提案いたしております、議案につきましては、お手元にお届けいたしておりますとおり、議案28件、報告1件となっております。

詳細につきましては、後ほど、ご説明させていただきますので、よろしくご審議いただき、全議案、ご同意、ご議決いただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、今定例会の開会のごあいさつとさせていただきます。